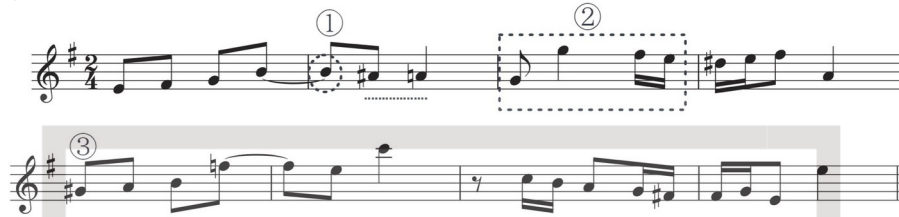
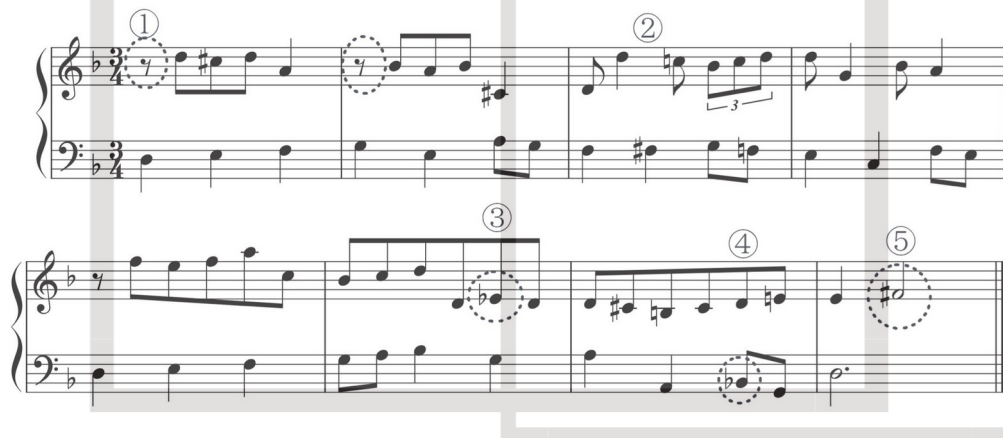


1.単旋律聴音課題



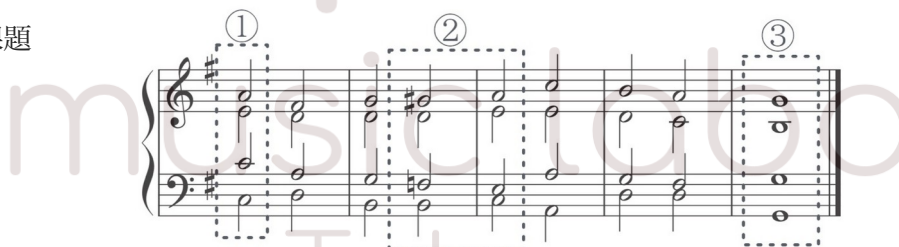
- ①リズム1…小節線を跨ぐタイのリズムです。カウントを崩さないように気をつけましょう。
- ②リズム2…シンコーペーションの応用のリズムの書き方も大切です。
- ③転調…短調の第3音が半音上がる変化をしています。この変化により、下屬調に転調しています。

2.複旋律聴音課題



- ①休符…1、2小節目の冒頭に休符があります。複旋律では、このようなことも少なくありません。
- ②転調…短調の第3音が半音上がっており、下屬調に転調しています。右手のリズムに惑わされず、転調の流れにも留意しましょう。
- ③和音…第2音が半音下がっています。ナポリの和音です。
- ④終止1…バスが属音から、下中音であるBの音に進行し、偽終止になっています。
- ⑤終止2…第3音が半音上がり、同主長調で曲が終わっています。ピカルディの3度です。

3.和声聴音課題



- ①和音…G durのIIの和音の第1転回形です。このように第3音が重複するのは古典派の特徴です。
- ②転調…II度調であるa mollに減七の和音から転調しています。
- ③和音…主和音ですが、属音が省略されています。これも頻出の書法です。